



洗心 6月

~日々新しく~



「冷たい！土がやわらかい！」

「何かいる！でっかいカエルだ！」

おそるおそる足を踏み入れた子どもたちから歓声が上がりました。ここは、八田にある井上さんの田んぼです。近くの巣塔では、今年生まれたコウノトリのひながすくすくと成長していました。

無農薬有機栽培を続けてこられた田んぼには、メダカやカエル、ヤゴ、ドジョウなど、生き物がいっぱいです。だからコウノトリが来る、ひなが育つのだ、子どもたちは、どんな説明よりも「わかる」体験をしたと思います。

里山の豊かな自然環境を守るために努力し続けている井上さんたちのように、宮崎地区には、熱い思いをもって活動する方々がたくさんいらっしゃいます。そして、地域の方々は、いつも子どもたちの学習を応援してくださいます。その幸せに感謝しながら、深く学び、ふるさとを大切にする心を育てていけるよう取り組みます。

学校教育目標「自ら学ぶ 共につくる」に向けて

- 1 主体的な学びづくり 2 創造的な学びづくり 3 成長を支える環境づくり

の三つを重点目標に、教育活動に取り組んでいます。今回は「1 主体的な学びづくり」の実践をお知らせします。

学びをつなぎて 深めて 共有して

〈ポイント1 複数の教科や総合的な学習の時間の学びを効果的につなぐ〉



3年生は、たけのこ掘り体験や社会科の加工場見学をもとに、総合的な学習の時間の課題を設定して学習を始めました。

人気のたけのこ料理を調べたいと考えて全校にアンケート調査をし、その結果は、算数で学習したことを見かして分かりやすいグラフに表してまとめました。

分かったことを伝えるために、発表会をしようと計画しました。

〈ポイント2 教科の特性にもとづき、学びを深める〉



発表会には、お世話になった人や、もっと知りたいことを教えてくれる人を招きたいと考えました。国語では、発表会の案内の手紙を書く学習をしました。知っている書き方で書いてみた手紙を、相手にとって分かりやすい案内状にするためにはどこをどう直すとよいか考え、話し合いました。

ここは研究授業として公開し、たくさんの先生方や学校関係者評議委員さんに見ていただきました。

〈ポイント3 先生方も共に学ぶ〉



先生方全員で考え、話し合いながら授業をつくっていきました。模擬授業をして、児童の視点で学び方を検討しました。その後も話し合いを重ね、よりよい授業を求めて模索を続けました。

授業の後には学びを振り返りました。複数の教科等の学習を関連づけ、必然性のある活動を目標にすることで、児童は生き生きと主体的に学べることや、改善のためのアイディアを共有しました。